

二本松市教育委員会会議録

令和3年3月25日午後3時00分二本松市教育委員会定例会議を二本松市役所教育委員会室に招集した。

○会議に出席した委員は次のとおりである。

教 育 長	丹 野 学
教育長職務代理者	佐 藤 英 之
教 育 委 員	関 奈 央 子
教 育 委 員	関 健 至
教 育 委 員	太 田 左 恵 子

○会議に説明のため出席した職員は次のとおりである。

教 育 部 長	篠 塚 浩
教育総務課長	石 井 栄 作
学校教育課長	安 齋 憲 治
生涯学習課長	服 部 憲 夫
文化課長	鈴 木 啓 樹

○教育長（丹野） それでは、ただいまから令和3年二本松市教育委員会3月定例会を開会いたします。

（宣言 午後3時00分）

○教育長（丹野） これより会議に入ります。

委員の出席状況を報告します。

現在の出席者は、5名であります。会議の定足数に達しておりますので、本会議は成立いたしました。

次に、「2 会議日程の決定」ですが、会議が終了するまでといたします。

続きまして「3 会議録署名人の決定」ですが、佐藤英之教育長職務代理者、関健至委員の2名を指名いたします。

「4 前回会議録朗読承認」ですが、事務局よりお願いします。

（事務局より、令和3年2月18日及び3月11日の会議録を朗読）

○教育長（丹野） ただいま事務局より朗読がありましたが、これについて皆様からご質問等ありますか。

（質問なし）

○教育長（丹野） それでは、ただいまの会議録については、承認することよろしいですか。

（異議なし）

○教育長（丹野） ただいまの会議録については、承認されました。

次に、「5 教育長報告」に入ります。「1 市議会3月定例会について」、事務局よりお願いします。

(事務局より説明)

○教育長(丹野) 続きまして、「2 令和3年4月1日付職員の異動内示について」、事務局よりお願いします。

(事務局より説明)

○教育長(丹野) 続いて、「3 令和2年度末教職員人事異動について」、事務局よりお願いします。

(事務局より説明)

○教育長(丹野) 続いて、「4 令和3年度公立高等学校入学者の選抜結果について」、事務局よりお願いします。

(事務局より説明)

○教育長(丹野) この件に関しては、委員の皆様からご意見を賜りたいと思います。

○教育長職務代理者(佐藤) 特に上位の子の伸びというのは、将来的な展望や希望等がしっかりしていなければならないし、友達関係や学級、学校の雰囲気からも影響を受けます。それらを学校全体で一つ一つ高めていくことが大切だと思います。

下位の子は、私も大変心配しておりますが、家庭環境等様々な問題を抱えている場合もあります。学校も意識して取り組んでいると思いますが、上位の子も下位の子もどうやって伸ばすかというのは、学校の方針と雰囲気作りが大変重要だと思います。

○教育委員(関奈央子) 佐藤教育長職務代理者がおっしゃるとおり、勉強についていけない子に対しては、やはり丁寧に教えてくれる存在が必要なのだと思います。

また、スポーツ熱心でスポーツを一生懸命にやりながらも勉強と両立させる子も多くいますが、問題なのはゲームに依存している子どもさんであり、もっとそちらに関心を持ち対策を行う必要があると思っています。

○教育委員(関健至) 学校の先生は子どもを不合格にさせたくないために志望校のランクを下げることを提案したり、また、家族は子どもが頑張り過ぎないようにと考えたりもします。ですが、志望校の受検に失敗したとしてもその子が周囲の声に惑わされずに強い意志や夢を持って受検に取り組んだかどうかが大変重要であり、そんな強い意志を持った子を育てなければならないと思います。先生たちも「(結果として志望校に)落ちたとしても夢や目標を持って取り組みなさいよ。」「この学校に行ったらこんなことができるよ。」等、そんな声掛けを増やしていただけたら、もっと頑張れる子が増えるのではないかと思います。

また、下位の子は、勉強（授業）が進んでしまうとついていけないので、難しいかも知れませんが、先生たちが子どもたちの理解度と言うか、子どもたちがどこまで授業を理解しているのかを的確に把握することも大切だと思います。

○教育委員（太田）　うちの子たちも、ちょうど受検を終えたところですが、常々「みんな同じく平等に、同じく公平に授業を受ける。これって伸びたい子は伸びることができない。分からないでいる子は分かる機会がない。そのまま1年が経ち2年が経ちで、本当にこれで良いのか。例えば、保護者からの苦情が出ることを恐れないで一番重要な英語と数学だけでもクラス替えをして授業を受けられたらどんなに良かったか。」そんな風にうちの子たちは言っていました。色々な決まり事があるのかも知れませんが、もし二本松市が本当に子どもたちのことを思うのであれば、何か思い切った改革が必要なのではないかと思いました。

○教育長（丹野）　ただいま皆様から頂戴しました貴重なご意見は、4月以降の学校教育課の指導の会議でも出させていただき、具現するための検討をさせていただきます。

○教育長（丹野）　続いて「5　令和3年度幼稚園入園式、小・中学校入学式の出席者について」、事務局よりお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野）　続いて「6　二本松市教育委員会・二本松市校長会定例会について」、事務局よりお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野）　続いて「7　第32回岩代ロードレース大会について」、事務局よりお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野）　続いて「8　二本松城跡発掘・検証に対する文化庁指導について」、事務局よりお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（丹野）　続いて「9　その他」に入ります。

（事務局より学校における地震等発生時の対応について説明）

○教育長（丹野）　続いて「6　提出議案」に入ります。

「報告第2号　専決処分の報告について（令和3年度教育委員会関係予算について）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

（事務局説明）

○教育長（丹野）　説明が終わりました。この件について、質疑、ご意見等はございますか。

(なし)

○教育長(丹野) それでは、採決に入ります。

ただいま議題となっております、「報告第2号 専決処分の報告について(令和3年度教育委員会関係予算について)」は、承認することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○教育長(丹野) ご異議なしと認めます。

よって、「報告第2号 専決処分の報告について(令和3年度教育委員会関係予算について)」は、承認しました。

○教育長(丹野) 続いて、「議案第8号 教育委員会関係規則の制定について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

(事務局説明)

○教育長(丹野) 説明が終わりました。この件について、関健至委員、ご意見等はございますか。

○教育委員(関健至) 部活動の指導員に関して原則平日1日2時間以内や休日3時間以内というのでは、普通に働いている人はどう頑張ってもできないですよ。良いコーチがいたとしても仕事があるので無理でしょうから指導員を探すことは大変だと思います。

○教育長(丹野) 事務局に伺いますが、他市が行っているような広域型のスポーツクラブ、ニュージーランド型スポーツクラブの導入は、二本松市では難しいのでしょうか。

(事務局より、指導者の確保という意味で例えばスポーツ少年団は保護者が指導をし、子どもが卒業しても指導者として残る場合もあるが、中学校になると更なる指導力が求められるため、現実的に指導者を探すことが困難な状況にあることを説明。)

○教育長(丹野) ニュージーランド辺りは、どちらかと言うと生涯スポーツのウエイトが強いのかなと思います。日本においては、時期的な年齢もあるが競技スポーツのウエイトが強くなってしまっていると思いますが、いかがでしょうか。

○教育委員(関健至) その部分はあると思います。また、親や子どもは(その種目の)強いところに行きたいと思うと部活はやらずにクラブチームを選ぶので、サッカーにしるバスケットボールにしる部活は部活で良いのではないかの流れはあると思います。

○教育長(丹野) 運動が苦手で不器用な子どもだとクラブチームに入りたくとも入り難いこともあるのでしょうか。ニュージーランド型だと「去る者は追わ

ず来る者は拒まず」との意味合いがあるのかと思いますが、佐藤職務代理人、いかがでしょうか。

○教育長職務代理人（佐藤） やはり体制そのものが整っていないので、その単位単位での活動しか行えないずに繋がらないのだと思います。またクラブチームに入ったとしても今度は保護者の送迎等の関係で参加が難しい、また逆にクラブチームがあるために中学校にその部活がなくなってしまい部活ができない子が出てきてしまう等色々な問題を含んでおります。社会全体が今そのような動きになっており、例えばサッカーが組織立って動いてきているような活動が広がっていくしかないのではと思います。なかなか難しいですが、少しずつですが変化はしてきていると思います。

○教育長（丹野） お二人が仰るとおり、この問題は色々と根深いものがあると思います。

それでは、採決に入ります。ただいま議題となっております、「議案第8号 教育委員会関係規則の制定について」は、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（異議なし）

○教育長（丹野） ご異議なしと認めます。

よって、「議案第8号 教育委員会関係規則の制定について」は、原案どおり可決しました。

○教育長（丹野） 続いて、「議案第9号 令和3年度準要保護者の認定について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

（事務局説明）

○教育長（丹野） 説明が終わりました。この件について、質疑、ご意見等がございますか。

（なし）

○教育長（丹野） それでは、採決に入ります。

ただいま議題となっております、「議案第9号 令和3年度準要保護者の認定について」は、原案どおり承認することにご異議ございませんか。

（異議なし）

○教育長（丹野） ご異議なしと認めます。

よって、「議案第9号 令和3年度準要保護者の認定について」は、原案どおり承認しました。

○教育長（丹野） 続いて、「議案第10号 第3期二本松市子ども読書推進計画の策定について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

(事務局説明)

○教育長(丹野) 説明が終わりました。この件について、質疑、ご意見等はございますか。

この内容については、先に関奈央子委員と太田委員から貴重なご意見をいただいておりますので、関奈央子委員から順に発言をお願いします。

○教育委員(関奈央子) 読書賞について以前の定例会でお話があった際に思ったのですが、借りた図書の冊数で評価するよりも、どのように感じたのかとか中身をもっと大事にした方が良いと感じましたので意見を書かせていただきました。当然計画に反映する等ではなく、今後検討していただければとの内容です。なお、資料の対応のところに書かれておりますが「ビブリオバトル」への代替が検討されているとのことで、これは本当に素晴らしいことだと思いました。

また、絵本フェスティバルについては、年1回の開催のため、なかなか参加できないとの意見も聞いておりましたので、そういった方々のために情報を発信していけたらと思っておりましたので、そのように書かせていただきました。

○教育長(丹野) 事務局において、読書賞に関して今の時点でお話しできることがあれば、説明をお願いします。

(事務局から、来年度に向けて「読書貯金」の検討を行っていることや読書賞については今年度より多くの子どもたちに賞状が行き渡るように実施した結果子どもたちの反応が良かったため、それらも踏まえて検討していきたいこと、ビブリオバトルについてもぜひ前向きに検討したいこと、また来年度「子ども司書養成講座」の開催も検討していることを説明。)

○教育委員(太田) 子どもたちは今、新型コロナの影響でイベント等が中止になったために活躍する場が無く、自分を向上させたり「燃えるぞ」みたいな機会がありませんので、ビブリオバトルや子ども司書等の機会をどんどん増やしていただき、集まらなくとも工夫するとコンクールのものや発表の場等設けることはできると思います。うちの娘もよく「二本松で子ども主催のボランティアコンクール等ができないか。」と話しておりますけれど、子どもがもっと活躍できるような機会、発表や表彰する場を作ることで活躍できる切っ掛けづくりができれば良いなと思っております。

また、「家族読書おススメ図書100選」ですが、二本松市がどんな本を薦めているのか、とても興味深かったためインターネットで検索しましたが、見つけられませんでした。私も絵本等に大変興味がありますので、何かでこのリストが見られれば良いなと思っておりました。

○教育長(丹野) 今のお話にありました「家族読書おススメ図書100選」は、平成29年3月に2市1村の教育委員会で策定したものです。その中に一部の

専門の校長先生や図書館の方などが加わって100冊選び、2市1村それぞれの学校や図書館に100冊ずつ配置して子どもたちに読んでもらうという取り組みでした。

しかしながら、先の太田委員からのお話にも関連しますが、教育施策というものは行政機関だけが一方的にやっても上手くはいかないものです。やはり市民が一緒になって、あるいは民間の方も含めて進めていくことがない限りは、形だけになってしまうきらいはあるなど、私はこの「家族読書おススメ図書100選」の一番まずいところであったのではないかと考えています。

そういう意味では、先程の太田委員のご意見は大きな意味がありますので、ぜひともこれからも色々なお考えを学校教育課長や生涯学習課長等へお聞かせいただき、それらを反映させていくことが本当の意味での読書活動の推進に繋がっていくものであると思います。いくら良いものを作っても見てもらえない、あるいは見てもらっても推進していかなければ意味がありません。そういう意味からも先の太田委員からのご意見は、これまでの経過からも大変大きな意味があると思います。ぜひともこれが形骸化するものではなく、実質推進計画になるようにするためにも、これからもご意見ご指導をいただけたらありがたいと思います。

○教育長（丹野） それでは、採決に入ります。

ただいま議題となっております、「議案第10号 第3期二本松市子ども読書推進計画の策定について」は、原案どおり承認することにご異議ございませんか。

（異議なし）

○教育長（丹野） ご異議なしと認めます。

よって、「議案第10号 第3期二本松市子ども読書推進計画の策定について」は、原案どおり承認しました。

○教育長（丹野） 以上で提出議案については終わりました。続いて、「7 協議事項」に入ります。

はじめに、「1 次期教育委員会の開催日程について」を議題といたします。
事務局の説明を求めます。

（事務局説明）

○教育長（丹野） 次に、「2 今後の日程について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

（事務局説明）

○教育長（丹野） 次に、「3 その他」を議題といたします。

○教育長（丹野） 事務局から、その他ありますか。

（なし）

委員の皆様からは、何かございますか。

(なし)

○教育長（丹野） ないようでしたら、以上で協議事項を終わります。

以上で、定例会の日程は、全部終了いたしました。

これをもちまして、令和3年二本松市教育委員会3月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

(宣言 午後4時40分)